

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                     |            |           |
|---------|---------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2393100272          |            |           |
| 法人名     | 株式会社日本介護研究所         |            |           |
| 事業所名    | グループホームめぐらす小川(かなりあ) |            |           |
| 所在地     | 愛知県安城市小川町新田山21番地11  |            |           |
| 自己評価作成日 | 2024年2月25日          | 評価結果市町村受理日 | 令和6年4月24日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [jokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action\\_kouhyou\\_detail\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=2393100272-008](http://jokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2393100272-008)

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人なごみ(和)の会 |
| 所在地   | 名古屋市中千種区小松町五丁目2番5 |
| 訪問調査日 | 令和6年3月22日         |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・入居者様にご自身でできることはしっかり行なって頂くことで自立支援につなげている

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

令和3年開設のホームで、職員は理念「めぐりを世の中へ」を個々に自分のものとして理解し日々のケアの中でしっかりと実践に繋げている。利用者の今までの生活スタイルや好みを寄り添ってコミュニケーションを取ることで把握し無理強いせず今できる事を全力で支援している。難しい場合は職員が一丸となって知恵や経験を活かしサポートしている。全体的に職員層は若く意見や提案が出しやすい環境がやりがいにもなっている。毎日の生活がマンネリ化せず楽しく笑顔で過ごせるようにとレクに力を入れ毎月趣向を凝らし季節感も味わえるよう企画している。日々のラジオ体操等生活の中で自然に実施できる様工夫し筋力低下に努め、さつまいも堀りて収穫したお芋を蒸したり、おしるこにはすいとんを入れて懐かしい味も提供している。まだまだ外出が難しいので事業所内で初もうでできるようにしたり、家族とデンパークに出かけ思い出を作っている。今後地域行事の再開時に参加したり、家族参加の行事を増やし、利用者と家族と職員3者の笑顔がある事業所作りを目指している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |   |
|----|--|---|----|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○ 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>(参考項目:9,10,19)  | ○ 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○ 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○ 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○ 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○ 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+Enter)です。]

| 己自部外               | 項目   | 外部評価   |   |
|--------------------|--|--|---|
|                    |  | 自己評価<br>実践状況   | 実践状況<br>次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |  |  |   |
| 1                  | (1)<br>○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念は「よいめぐりを世の中へ」常に意識して考え施設会議で話し合いを行いチームワークを大切にしている。</li> <li>・運営推進会議で町内会長さんをまねいて普段の様子を見ていただいたり、近所のお弁当屋さんにイベントの弁当を注文したりと交流を深めています。</li> <li>・理念は施設内に掲示されているため常に意識することができる。</li> </ul>  | <p>理念「よいめぐりを世の中へ」は事業保内に掲示され、折に触れて説明されている。職員は日々のケアの目指すところが明確に示されていると認識し、利用者一人ひとりに合った声掛け、介助方法を常に意識し安全に楽しく暮らせるよう取り組んでいる。迷ったら他の職員のやり方を手本にしなが実践に繋げている。</p>       |
| 2                  | (2)<br>○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベント情報を収集し参加出来るようなイベントがあれば入居者様と参加している。</li> <li>・家族様参加のデンパークへ外出を行ったり、トヨタから誘いの芋掘りに参加していただき地域との繋がりを大切にしている。</li> <li>・近所の畑のお花を見に外に出たり、職員からご近所様にお花を楽ませてもらっていますと伝え交流している。</li> <li>・運営推進会議をを開催している。</li> </ul>                      | <p>町内会に加入し、定期的に「めぐらす小川通信」を閲覧板に入れてもらい情報発信している。バンド演奏やハーバリウム、マジックのボランティアの訪問があり、利用者は楽しい時間を過ごしている。夏休みに中学生の職場体験も受け入れた。事業所目の前にある「お弁当や」さんと懇意になり運動会等行事の際に利用している。</p> |
| 3                  | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々に向けて認知症人の理解、支援方法を発信する機会を設けていない現状である。</li> <li>・運営推進会議で実践しています。</li> </ul>   |   |
| 4                  | (3)<br>○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月に一回行い、その中で施設内の活動報告事故、ヒヤリ報告を行っている。</li> <li>・会議は定期的に行われている。会議は入居者様と一緒に手作りのおやつと一緒に食べることもあります。</li> <li>・定期的に会議を行っているが、詳しくは把握していません。</li> <li>・開催時にはケア職員もなるべく参加出来るようになっている。</li> </ul>   | <p>2か月毎に年6回対面で開催している。事業所の取り組みを知ってもらえるよう入居者状況、業務やレク活動を伝え、事故・ヒヤリハット報告では対策も説明しながら意見交換している。町内会長から地域情報を得たり、事業所の職員体制についても都度説明し理解へと繋げている。</p>                      |
| 5                  | (4)<br>○市町村との連携<br>市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・携わった事がないため出来ていない。</li> </ul>   | <p>行政窓口には種類の提出や事故報告で出向き情報交換している。管理者がグループホーム部会に参加して意見交換したり、地域包括支援センターとは入居に関する事で連携している。研修の案内は届いたが今年度は参加できなかった。</p>  |
| 6                  | (5)<br>○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | <ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1回高齢者虐待防止委員会を施設内で開催し虐待についての理解、虐待防止の取り組みを行っている。</li> <li>・月に1回高齢者虐待防止委員会を施設内で開催し、身体拘束について話し合っている。</li> <li>・会社全体でテストを行い100点が取れるまで正しい知識つけてケアに取り組んでいる。</li> <li>・取り組んでいる。</li> <li>・会議で話し合い本人にあったケアを実践している。玄関の施錠は出来ていない。</li> </ul> | <p>職員は入職時に身体拘束について学び、月1回の委員会で理解を深めている。法人で定期的に「テスト」が実施され、日々のケアに反映されている。ユニット間は自由に行き来でき、玄関は安全上施錠している。スピーチロックについては会議で振り返りながら内容によっては委員会でも検討し、意識向上に取り組んでいる。</p>   |
| 7                  | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待防止委員会を月に1度開催し正しい理解を促している。</li> <li>・月に1回高齢者虐待防止委員会を施設内で開催し虐待についての理解、虐待防止の取り組みを行っている。</li> <li>・定期的にテストを行い、正しい知識をつけてケアに取り組んでいる。</li> <li>・研修などで学んでいる。</li> </ul>   |   |

|    |  |  |   |  |
|----|--|--|---|--|
| 8  | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | ・権利擁護に関することは職員の中で理解不足の現状である。<br>・研修などで学んでいる。   |   |  |
| 9  | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | ・ケアマネが行っている。<br>・どのように契約が結ばれ、どのように説明しているかを共有しており職員誰もが内容をみられるようになっている。  |   |  |
| 10 | (6) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                 | ・面会で来られた際に家族様に状態報告行い家族様からの意見も取り入れられている。<br>・利用者様、家族等の意見要望など合った際は記録にのこしている。<br>・職員全員が担当の居室を持っており、家族様に来られた際には対応が出来るようになっている。   | 現時面会は自由にでき、事業所から状態や様子を伝えながら意見や要望を聞いており、情報は共有している。何かあれば家族の希望に応じてショートメールや電話を使い分けて連絡している。4月の周年祭は家族にも声掛けして開催したいと考えている。  |  |
| 11 | (7) ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                  | ・従業員満足度調査アンケートの実施。その結果を会議内で話し合っている。<br>・定期的に聞き取りのアンケートがあり、意見提案等の発言ができる。異名での全社公開で会議で議題として上がるので反映もされます。<br>・施設会議等にて話し合いの機会があり職員で意見を出し合い、反映させている。   | 職員はケアに関することはユニット会議で検討し、それ以外の提案は議事録にして施設会議で話し合っている。衣類の衣替えについて「現在使用するものをご持参ください。」と家族に依頼したところ面会に繋がった好事例がある。法人から定期的に職場環境や福利厚生についてアンケートがあり、その中で意見は社内公開され反映されている。 |  |
| 12 | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | ・半年に一回、この半年でこんだけやりましたとアピールする場を設けている。<br>・自分のことは自分で管理のスタイルなので各自が働きやすいように働いている。実績や頑張りで給料が上がるシステムもあるのでやりがいがあり向上心を持って働いている。<br>・自身で業務が行える事が増えると自分で自分を褒める事ができ、認められれば給料に反映されるようになっている。                     |   |  |
| 13 | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | ・入社3ヶ月間は教育係が付き、3ヶ月過ぎても、月に1回1on1を行っている。<br>・入社時に研修がある。資格取得時も会社が全額負担してくれ、研修の期間も就業時間に含まれる為環境が整っている。<br>・3か月間、教育担当がしっかり付き、研修が出来るようになっている。<br>・会社内での研修を行う機会を設けている。社外の研修についても情報共有をし受けたい研修があれば受講出来るようにしている。 |   |  |
| 14 | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ・他施設との意見交換の場や、勉強会を開催している。<br>・市内のグループホーム部会に参加、部会の研修等に参加し同業者と交流する機会を設けている。<br>・TUNAGUで他施設の取り組みをみたり自分の施設の取り組みを発信することでサービスの質の向上に繋がっている。   |   |  |

| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |     |  |   |  |  |
|----------------------|-----|--|---|--|--|
| 15                   |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学の際に説明を行っている。</li> <li>ケアマネがアセスメントシートにまとめて職員全体に共有をけている。</li> <li>ケアプランに沿ってケアをしていく中で本人様に必要なことは何かを注意深く観察し、共有している。</li> </ul>  |  |  |
| 16                   |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学の際に説明を行っている。</li> <li>ケアマネがアセスメントシートにまとめて職員全体に共有をけている。</li> <li>本人様の不安などを常にお伝えすることで安心して頂けるようにしている。</li> <li>ご家族様が面会に来られた際には最近の様子をお伝えしている。</li> </ul>                             |  |  |
| 17                   |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネがアセスメントシートにまとめて職員全体に共有をけている。</li> <li>できている。</li> </ul>  |  |  |
| 18                   |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で、入居者様に可能なことを行ってもらっている。</li> <li>本人にできることはやっていたいただき生活の中でお手伝いをお願いしたりしている。</li> <li>本人様が何を不安に思っているのか、共に時間を過ごすことで組とり、1人にせず他入居者との関わりを持てるようにしている。</li> </ul>                        |  |  |
| 19                   |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている     | <ul style="list-style-type: none"> <li>外出、外泊できるよう行っている。面会もいつでも可能になっている。</li> <li>ご家族と連絡を取りながら支援を行って居ます。</li> <li>外出レクをしてご家族様と一緒に入居者を外へお連れする。</li> <li>入居者様の事を常に家族様に情報共有をすることで、家族様と本人様の絆を大切にし、共に支えるように努めている。</li> </ul>      |  |  |
| 20                   | (8) | ○馴染みの人や場所との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                | <ul style="list-style-type: none"> <li>家族様、友人との外出できるようにしている。</li> <li>友人様などいつでも迎えられよう環境を整えている。</li> <li>入居者様の友人様がお見えになった時など同じ時間をゆっくり過ごして頂けるような環境づくりを努めている。</li> <li>馴染みの方との関係が途切れないように手紙、電話でのやり取りを等の支援を行っている。</li> </ul>    | <p>知人や友人の面会もあり、その方との外出は家族の了解を得て進めている。家族と馴染みの理容院やお盆や正月に自宅に帰省される方もある。レクでクリスマスカードや年賀状を作成したり、敬老の日には家族にメッセージを依頼し関係が途切れないよう支援している。近隣のコンビニは散歩等で入所後利用者の馴染みの場所となっている。また、携帯電話で家族と連絡を取っている方もある。</p> |  |
| 21                   |     | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている             | <ul style="list-style-type: none"> <li>決まった席はなく好きな席に座れるようにしている。</li> <li>利用者同士の関係を把握し席を決めている。</li> <li>気の合う入居者様、そうでない入居者様とおられるため無理に関係をもつのではなくお話をしたい方、そうでない方を見極め支え会える支援をしている。</li> <li>会話をする際は多くの方が話せるような話題作りをする。</li> </ul> |  |  |

|                                    |   |  |  |  |
|------------------------------------|---|--|--|--|
| 22                                 | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                         | ・ケアマネがおこなっている。<br>・退去された入居者様については転居先での様子を確認するようにしている。  |  |  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |   |  |  |  |
| 23                                 | (9) ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | ・本人希望があれば家族様に確認行い、可能な範囲で行っている。<br>・本人の意思を尊重しケアを行っている。<br>・ケアプランに沿ってケアを行っているが、本人様の希望と合っていない場合はケアマネに報告し、本人様本位になるようにしている。   | 日常のケアの中でコミュニケーションを大切に思いや意向の把握に努めている。難しい場合はアプローチや質問方法を工夫し、目と目を合わせ様子を観察し表情やしぐさから汲み取るようにしている。信頼関係を作ることを優先し、決して無理強いせず利用者のリラクセスや集中しているタイミングを上手に利用している。                      |  |
| 24                                 | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている  | ・アセスメントシートが職員に共有されている。<br>・これまでの生活歴を本人様、家族様に確認しサービス利用の経過についても把握するよう努めている。  |  |  |
| 25                                 | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている  | ・職員間の中で情報共有されている。<br>・月に一回2ユニット事に会議があり利用者一人一人の情報共有がある。<br>・入居前どんな暮らしをされていたかを本人様との会議の中で聞き出しなるべく自宅におられた状態と同じように過ごして頂けるよう支援している。  |  |  |
| 26                                 | (10) ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ・施設会議、フロア会議、訪問診療等で入居者様の状態を確認している。<br>・月に一回2ユニット事に会議があり利用者一人一人の情報共有がある。<br>・月に1度のフロア会議の中でその方にプランが合っているのか、ケアは合っているか等話し合うことで職員で、入居者様の現状に合ったケアを行えている。<br>・ご家族様との連絡のやり取りを密に行い必要なケアを取り入れている。                       | モニタリングは毎月実施している。職員は日々の様子を会議の中で共有し、計画が現状に合っているか否かも併せて話し合っている。担当者はカナミックの情報や職員の意見を基に通常は6か月ごとに計画の見直しや継続を行っている。家族の意向や意見は計画の説明時に確認し何かあれば反映される。新規の場合は3か月で見直し、状況変化時も随時見直ししている。 |  |
| 27                                 | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                         | ・介護記録としてカナミックに入力している。<br>・毎日些細なことまで介護記録がなされているしかし忘れてしまうことも時々あるのでその都度やり後回しにしない。<br>・カナミックという電子記録で一人ひとりのケアを記録しており、職員間で情報共有が行えている。<br>・ケアプランの中に、実践している事、出来なかった事含め介護記録に記載している。<br>・記録やLINE WORKSを使い全体で情報共有をしている。 |  |  |
| 28                                 | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                    | ・自施設だけでなく本人の状態にあったサービスを提供できるように取り組んでいる。<br>・既存のサービスだけでなく、柔軟な支援が出来るように全職員が努めている。  |  |  |

|         |   |   |  |  |
|---------|---|---|--|--|
| 29      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | ・地域資源の把握が出来ていないが、本人が心身の力を発揮し安全で豊かな暮らしが出来るよう支援は行っている。  |  |  |
| 30 (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br><br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所   | ・定期的に訪問受診があり、個々に医師への相談が行われている。<br>・かかりつけ医への受診は本人及び家族様で対応している。<br>・入居者様、ご家族様の希望を聞き出し、在宅クリニックで行えないことは伝え家族様と協力しあい適切な医療を受けられるようにしている。<br>・施設内に看護師は居ないが系列施設に看護師になにかあった際には連絡し、確認を取っている。月2回の訪問診療時には系列施設の看護師がきて様子確認を行っている。  | 協力医の往診が月2回あり、かかりつけ医や認知症や循環器等専門医受診は家族対応としている。歯科は契約時に訪問歯科受診希望の有無を確認している。かかりつけの歯科受診も可能で家族対応としている。月2回の訪問歯科時には歯科衛生士も同行し口腔ケア指導を受けている。系列施設の看護師とは協力医の往診時も含め日常の相談や確認で連携を図っている。                |  |
| 31      | ○看護職との協働<br><br><small>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護職等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</small>       | ・情報共有の中で看護師とすぐ連絡取れるようになってきている。また2週間に1回訪問診療、場合によっては1週間に1回の遠隔診療を行っている。<br>・日々の情報、気づきの共有がされており、利用者の方々の適切な受診が受けられていると思う。<br>・NGが在住しているので他施設にいるNCIに情報共有を常に行っている。定期的に診療も行っている。<br>・ナースとのやり取りを密に行っている。些細な擦り傷もすぐにナースに方向し、指示を仰ぐようにしている。<br>・定期的にある訪問診療や電話で変化や現状を伝えている。 |  |  |
| 32      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ・病院関係者と情報交換を行っており、必要であれば様子確認の為に伺いに行くこともある。<br>・出来ている。   |  |  |
| 33 (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br><br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共             | ・医療が必要になった場合、他施設に退去となっているが家族希望があれば終末期ケアを行っている。<br>・早期に対応、ご家族様への連絡、説明を行っている。医療的ケアが必要な場合は他施設への案内も行っている。<br>・体調不良時にはすぐに家族様に報告し、常に家族様と状態について確認しあい、施設として出来ることを説明している。  | 「基本的には看取りを実施しない」ことも含め入所時に事業所の方針を説明し家族の了解を得ている。段階ごとに医師や看護師、家族、本人と事業所が話し合い方向性を確認している。吸引や胃ろう等の医療行為が必要になった場合は系列施設への移設を提案している。家族の希望があれば職員に「看取りのケアカンファレンス」を実施後、終末期ケアも可能だがこの1年間で該当事者がいなかった。 |  |
| 34      | ○急変や事故発生時の備え<br><br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | ・緊急時のフロチャートがあるので全ての職員が対応出来る状態になっている。<br>・入社時にマニュアルを通して勉強し、月に1度のフロア会議にて看護への報告基準の確認を行っている。<br>・事故の際のマニュアルがありそれに従い行動をしている。<br>・応急手当や初期対応の訓練については定期的に行っている。実践力も身につけていると思われる。  |  |  |
| 35 (13) | ○災害対策<br><br><small>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</small>                           | ・日勤、夜間想定として訓練を施設内で実施している。<br>・年に2回の防災訓練がなされている。夜間にももし火災等が起きたときの対応が疑問です。大丈夫なのかと。<br>・赤電話、非常ベル設置。定期的に避難訓練を行っている。<br>・3ヶ月に1度、災害、地震に向けて訓練を行っている。<br>・定期的に避難訓練を行い、対応出来るように努めている。   | 夜間火事想定訓練と日中地震想定訓練を実施している。職員は避難経路を理解し対応できるよう努めている。利用者は水消火器の訓練に参加している。地域の訓練は夜間実施のため参加できなかった。備蓄品は外の防災倉庫に水、食料3日分、衛生用品、簡易トイレ等の備品も多数準備している。  |  |

| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |   |   |
|---------------------------|------|---|---|---|
| 36                        | (14) | <p>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>               | <p>一人一人個室を用意されているためプライベート空間の確保している。</p> <p>一人ひとりに合った声かけに気をつけているが時に少きつい言い方だったのではと思うときがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できている。</li> <li>・常に家族様が見ていると思いがながらケアにあたっている。誰が見ても聞いても安心できるような声掛けをしている。</li> </ul>  | <p>法人の研修も含め、接遇に関しては会議等でも対応を話し合っている。利用者を基本「苗字+さん」付けで声掛けし、居室入室時にはノックして自身の名前を伝えるようにしている。家族の了解を得て下の名前で対応する場合は職員全員共通認識で取り組んでいる。馴れあいにならず「親しき中にも礼儀あり」を心がけ、不適切ケア発見時には委員会でも対応を検討している。</p>      |
| 37                        |      | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>                 | <p>・食事の時間以外は自由に過ごして頂いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できている。</li> <li>・何気ない会話の中で本人様の要望を聞き出し本人様が自己にて決定出来るように支援している。</li> <li>・さりげない会話の中でやりたいこと等を発見し、思い、希望を実践できるよう自己決定してもらうよう努めている。</li> </ul>  |   |
| 38                        |      | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その人らしい暮らしを支援している</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションを入居者様に確認しながら行っている。</li> <li>・外出には化粧、素敵な服を着ているときには声掛けして髪やメイクが乱れていたら直してあげたりしている。一部のひとではなく全員にしてあげる工夫が必要。</li> <li>・入浴の際は本人に聞いてから入浴を行っている。</li> <li>・本人様のやりたいことを尊重し、本人様の意思を優先出来ている。</li> </ul>  |   |
| 39                        |      | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様の好きな服を持ってきて着ていただいている。</li> <li>・好きな服を着ていただくように声かけをしている。</li> <li>・外出がなくても毎日の整容を行い、爪切りなどいつ外出が合ってもいいように整えている。</li> <li>・入浴の際にこの服で問題ないかをその都度確認している。</li> <li>・入居者様の着たいもの、おしゃれが出来よう支援している。化粧をされる入居者様もおられる。</li> </ul>   |   |
| 40                        | (15) | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・時に準備を一緒に決まった入居者の方には毎回一緒にやっている(全員ではない)全員の方にも一緒にやる楽しみをわかってもらう工夫が必要。</li> <li>・一人一人どのように食事を提供するの記載されているので残存能力を生かした食事ができている。</li> <li>・味はもちろんの事、見た目も重視し調理している。レクリエーションでその方々の好きなものを作ったり、季節にあった食事を楽しめるようにしている。</li> <li>・皮むきなど入居者様が出来ることをやっています。</li> <li>・一人ひとりの入居者様の出来ることを把握し出来ることを行っている(じゃがいもの皮むき、大根おろし、食器拭き等)。</li> </ul> | <p>食材配達でメニューは決まっているが、担当職員が利用者の好みに合わせてアレンジして提供する場合もある。利用者は野菜の下ごしらえやお盆拭き、食器拭き等の後片付けを手伝っている。食事形態は利用者の状態にあわせて刻みやとろみをつけ、食べられないものがあれば代替品を用意している。あんみつやおはぎをおやつレクで作ったりして食事が楽しみとなるよう支援している。</p> |
| 41                        |      | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりにあった食事形態、水分にはトロミをつけて対応している。</li> <li>・水分量はなるべく声掛けをして摂取して頂いている。栄養摂取に関しては食の細い方がいて補助食品等で補っている。喜んで飲んで頂けるようにマンネリしない献立の改善も考えていく。</li> <li>・一人ひとりの食事量を記録しており、食事が少ない方には経口栄養剤を提供したりしている。</li> <li>・食事内容は献立に沿って季節に合った食事を提供し水分摂取もこまめにより確保出来ている。</li> <li>・水分を取りたがらない入居者様がいたら水分をとる必要性を説明をして飲んでいただく。</li> </ul>                 |   |
| 42                        |      | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一ヶ月に一回訪問歯科があり希望者はみてもらっている。</li> <li>・毎食後の歯磨きを支援していますが、なかには拒否の方もいて訪問診療で汚れが残っていると云われる方もいるのもっと時間をかけて支援する必要があると思う。</li> <li>・食後毎日実施している。月に2回訪問歯科があり希望されている方は定期的に健診している。</li> <li>・自身で実施出来ない入居者様に付いては職員側でお手伝いしたり、2週間に1度の訪問歯科にて口腔内を清潔に保っている。</li> <li>・磨き残しがあった場合、こちらで仕上げをしている。</li> </ul>                                    |   |

|    |      |   |  |  |  |
|----|------|---|--|--|--|
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・TENA委員会を月に一回開いてその中で話し合っている。フロア会議、施設会議で話し合っている。</li> <li>・一人ひとりに合わせて排泄の支援を行っており失敗ばかりでもなるべく自分で行けるように支援している。</li> <li>・その人にあった排泄具を選定している。</li> <li>・出来ている。おむつ内、リハビリパンツ内での排泄ではなくトイレで出来るよう声掛けを徹底している。</li> <li>・トイレの頻回の入居者様にはこまめに声掛けをして失敗を防ぐ。</li> </ul>  | <p>排せつチェック表に基づき個々のパターンを把握し、日中はタイミングを見て声掛けや誘導を行い、なるべくトイレでの排泄を支援している。失敗時等はさりげなく小声でその方に合った理解しやすい言葉で対応できるよう心掛けている。自立の方も見守りを行い、夜間はその方の尿量に合った衛生用品を使用することでなるべく睡眠を妨げないよう工夫している。</p>                |  |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br><br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水分をしっかり提供し、体を動かす体操を提供している。</li> <li>・野菜を食べていただいたり、声掛けし水分量を取っていただく等便秘にならないように工夫しています。</li> <li>・水分をこまめに取るように声掛けしたり、運動を無理のない程度に行っている。</li> <li>・2名ほど便秘の薬を飲んでるんですがトイレ介助の際にお腹のマッサージをするように心がけている。</li> <li>・便秘にならないように水分摂取を促したり、薬で調整したり、日々運動したりと工夫している。</li> </ul>                                    |  |  |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に合った支援をしている | <ul style="list-style-type: none"> <li>・午前、午後で入れるようにしている。</li> <li>・週に2回入浴は必ず行っていますがタイミングも大切で、拒否の方に対する誘導が強引になることも時々あり何か方法があれば良い。</li> <li>・入浴する曜日は決められているが、入浴は本人様の意思を聞いてから入浴している。</li> <li>・入浴の時間、曜日は決まってしまうが入浴の際に本人様が好きなように入浴出来るように1人の時間を作ったり、ゆっくり入浴を楽しめるよう支援している。</li> <li>・ご自身で洗身、洗髪が出来る入居者様にはご自身でやっていただく。</li> </ul>                 | <p>基本週2回、午前中に入浴している。拒否があれば時間帯を替えたり、声掛け方法を工夫したりして誘導し無理強いはしないようにしている。事業所環境に慣れるまで同性介助で支援することもある。シャンプーやソープは共用だが時々入浴剤を使用したり、季節のゆずの代わりに湯を実施し、楽しめるよう工夫している。職員はマンツーマン介助時に普段話されない本人の思いを知ることもある。</p> |  |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に自由に日中は休憩していただいています。退屈で昼寝をたくさんしてしまうのではないかとと思われる方に対しての声かけ、レクをやっている。</li> <li>・いつでも休憩していただけるようにベッドメイキングしている。</li> <li>・昼夜逆転しないように日中は活動していただき、夜はしっかり眠れるように支援している。</li> <li>・疲れている入居者様には早めの就寝誘導を行っている。</li> </ul>  |  |  |
| 47 |      | ○服薬支援<br><br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めています             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の詳しいことはよくわかりませんが、ケアの方々が決まった時間に飲んで頂いており症状によっては医師に相談して変化を見逃さないようにしている。</li> <li>・どのような薬を使用しているかおくすり手帳があり、症状の変化があったときには訪問診療にて報告している。</li> <li>・職員が薬情を把握し、用法、容量について理解出来ている。</li> <li>・服薬変更の際は、LINE WORKSやケアチェック表に変更点を共有している。</li> <li>・薬の目的、副作用に付いて常に薬情を確認し、何か合った際には主治医、看護師に報告するようにしている。</li> </ul> |  |  |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「昔ではないですが手芸等を楽しんでおられる方がいるので相談にのったりしている。多くの方が楽しんでもらえるように簡単にできる何かをもっと考えていく。</li> <li>・レクを毎日行っている。月に一回季節を感じるレクを行っている。</li> <li>・各入居者様の得意な事を日々の中で見つけ出しその方のやりがいになるように支援している。</li> <li>・洗濯たたみや皮むきが出来る入居者様にはやっていただくようにしている。</li> <li>・一人ひとりの得意とする事を把握し、掃除、食器拭き、食事の下ごしらえ楽しみごと等の支援をしている。</li> </ul>       |  |  |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの公園にいたり、施設の周りに散歩に行ったりしている。本人様、家族の希望があればいつでも外泊、外出できるようになっている。</li> <li>・今のところ年に一回のデンパークへの外出となっているが、暖かい日には庭に出てもらい日光を浴びてもらっています。しかし全員ではないので全員の方が行ける工夫を考えたい。</li> <li>・ご家族様と協力しながら外出している。</li> <li>・「外の空気を吸いたい」と言われる入居者様や散歩に行きたいと言われる</li> </ul>   | <p>日常は天候や利用者の体調を見ながら事業所周辺を散歩している。秋には企業のお誘いを受けて「さつまいも祭り」や家族にも参加してもらい「デンパーク」へ出かけた。玄関先や駐車場のおやつタイムやおしゃべり、日光浴で気分転換を図っている。家族の協力の下、外出や外食に出かける方もある。</p>  |  |

|         |   |  |   |  |
|---------|---|--|---|--|
|         | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことに対して本人様のなるべく叶えるように支援している</li> <li>・家族様に協力してもらって外出レクを企画、実施出来た。今後も継続して行えたらと思う。</li> </ul>  |   |  |
| 50      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を使う場面がほとんどない。</li> <li>・ご家族様と相談しながら利用者さまにお金を持たしている。</li> <li>・施設にはお金を置いていない。</li> </ul>  |   |  |
| 51      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話を持っている方は自由に使って頂いていると思います。</li> <li>・イベント時にカードや手紙のやり取りを家族様友人様と行えるように支援している。</li> <li>・全ての入居者様ではないが希望される入居者様には手紙のやりとりの支援をしている。(ポストに投函する等の支援)</li> </ul>  |   |  |
| 52 (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br><small>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</small> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に空気の入れかえや、エアコンを使って温度調節を行っている。また月に一回フロア内の飾りつけをしている。</li> <li>・常にきれいを保つように努力しています。気温の管理もして温度調節を行っている。季節事に壁の飾り等を替えて楽しんでいると思います。</li> <li>・毎日の掃除を徹底している。トイレ、キッチン、入居者様が使われない場所も掃除している。また中庭があるため花や野菜を育てることで季節を感じれるように支援している。</li> </ul> | <p>共用空間には季節を感じられる掲示物があり、掃除が行き届き清潔に保たれている。換気は職員によって行われ、職員が声掛けすればモップ掛けを手伝う利用者もいる。平屋造りのため共用空間や廊下から中庭を眺めることができ、ユニット間の行き来もしやすい。テーブルの配置等は利用者の相性を見て都度変更している。</p>         |  |
| 53      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・思い思いにユニット間の移動ができるように支援しています。</li> <li>・共用空間にソファが設置しているのでくつろいだり利用者様同士で会話を楽しまれる方もいます。</li> <li>・共有空間の中でソファでくつろげたり、気のあう入居者様同士で会話ができるように支援している。</li> <li>・ソファを食堂に配置し仲の良い入居者様同士で話せる場を提供している。</li> </ul>                                   |   |  |
| 54 (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br><small>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</small>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで家で利用されていたものを持ってきて使用してもらっている。</li> <li>・御本人様の使い慣れたもの(クッション)好きなもの、写真など飾られて居ます。</li> <li>・ベッド以外の物は本人様持ち物になるので居心地の良い空間になるようになっている。</li> <li>・居室には本人様が入居前に使用していた家具を持ち込んでいただき、住み慣れた場所と同じように出来る空間を提供出来ている。</li> </ul>                    | <p>居室はベッド、エアコンが設置され、机やいす、写真、カーテン、ふとん、テレビ等使い慣れたものが持ち込まれ居心地よく過ごせる空間となっている。材質上壁面掲示はできないが、個々に工夫しながら小棚に小物が並べられ、植物を飾っている方もある。掃除や換気は職員が行うが、見守りの下掃除機やモップ掛けを手伝う利用者もある。</p> |  |
| 55      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・動線には手すりを設置しており、段差がないので安全な空間で過ごされている。</li> <li>・建物内の作りを理解した上で入居者様の出来ることを行ってもらっている。</li> </ul>   |   |  |

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                    |            |           |
|---------|--------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2393100272         |            |           |
| 法人名     | 株式会社日本介護研究所        |            |           |
| 事業所名    | グループホームめぐらす小川 うぐいす |            |           |
| 所在地     | 愛知県安城市小川町新田山21番地11 |            |           |
| 自己評価作成日 | 2024年2月25日         | 評価結果市町村受理日 | 令和6年4月24日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [jokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action\\_kouhyou\\_detail\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=2393100272-008](http://jokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2393100272-008)

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人なごみ(和)の会 |
| 所在地   | 名古屋市千種区小松町五丁目2番5  |
| 訪問調査日 | 令和6年3月22日         |

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

|  |
|--|
| ・入居者様にご自身でできることはしっかり行なって頂くことで自立支援につなげている |
|--|

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
|  |
|--|

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 己自部外              | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |  |
|-------------------|-----|---|--|-------------------|--|
|                   |     | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| <b>I.理念に基づく運営</b> |     |   |  |                   |  |
| 1                 | (1) | ○理念の共有と実践<br><br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | ・よいめぐりを世の中へ いつでも見られるようにフロアに掲示している。<br>・よいめぐりを世の中へ、ご利用者様、職員、地域の方々が安心して暮らして行けるように意識して行動している。<br>・些細なことについてもご家族様に連絡を行う。<br>・会社の理念(GuiDe)がありGuiDelに基づいて、日々の業務を行っている。   |                   |  |
| 2                 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br><br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している  | ・2ヶ月に一回運営推進会議を開き、町内会、入居者様、家族様を呼んで行っている。<br>・中学生の体験ボランティアが今年も行われました。<br>・イベント時に地域での弁当屋で注文し、利用者様に提供したりしてつながりを大事にしている。<br>・回覧板で地域との繋がりを保持している。またお便りを回覧板に掲載することで施設の中を見えるようにしている。<br>・地域のイベントに参加を行い季節を感じていただく。              |                   |  |
| 3                 |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | ・通信を作成し施設の様子をつたえている。   |                   |  |
| 4                 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている  | ・運営推進会議内で出た意見や問い合わせは議事録に残し、今後のサービス向上のために活かすよう努めている。<br>・家族様に参加していただき意見交換を行い、サービス向上に努めている。家族様と利用者様の面会の時間にも繋がっている。<br>・している。<br>・定期的に会議を開始している。  |                   |  |
| 5                 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | ・ケアマネがやり取りしているのをよく見かけます。<br>・市町村担当とは運営推進会議の場や、実際に市役所に足を運び、何かあった時の情報共有を行っている  |                   |  |
| 6                 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br><br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・施設会議の中で拘束内容の確認を行っている。<br>・すべての職員が身体拘束をしないということを認識しています。研修を通して学んで居ます。<br>・身体拘束は行っていません。各居室に鍵が付いているが利用者様自身が施錠する以外は使用していません。職員すべてが施錠しないことを把握しております。<br>・高齢者虐待防止委員会を月に1度開催し正しい理解を促している。多動の入居者様に対しても見守りを徹底して拘束をしないようにしている。 |                   |  |
| 7                 |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている  | ・月に1回高齢者虐待防止委員会を開き、話し合いをしている。<br>・すべての職員が虐待について学ぶ機会を持ち防止に努めている。<br>・定期的に高齢者虐待について会議を行っており職員全体に共有している。  |                   |  |

|        |  |  |  |  |
|--------|--|--|--|--|
| 8      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | ・自身で介護について勉強している。<br>・定期的に虐待に付いての話し合いを行い、していないかの確認を行う。   |  |  |
| 9      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | ・契約については契約書を確認しながら説明を行い納得を図る事が出来ている。<br>・携わった機会がないため出来ていない。  |  |  |
| 10 (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | ・運営推進会議の場や家族面会時に、意見、要望を聞く機会を設け、運営に反映させている。<br>・運営推進会議に参加いただいたりと家族様が意見を言いやすい場を設けている。<br>・推進会議などで意見をきき反映するようにしている。   |  |  |
| 11 (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | ・月に2回施設会議を開催し、意見、提案出来る機会を設け、意見、提案を反映させている。<br>・LINE WORKSを利用して情報共有出来ている。<br>・会議などで意見を言える場を設けるようにしている。  |  |  |
| 12     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | ・自分をアピールして給与へ反映させる制度があり向上心を持つことが出来る。<br>・各自がやりたいことを行ってもらい、やりがいを持って働けるように努めている。職場環境、条件の整備を考慮している。<br>・ジブンジマンで能力を評価し向上心を持つように努めている。<br>・残業等をなるべくしないように個々の業務内容を把握し協力しあえるように努めている。 |  |  |
| 13     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | ・ブラザーシスターが教育係になり、新人を育てるシステムが作られている。<br>・代表者だけでなく、職員同士で教え合い高めています。<br>・指導者だけでなく全員がささえられるよう進捗状況を共有している。  |  |  |
| 14     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ・他施設と合同レクをしたり交流している。<br>・他施設へ応援やレクに行ったり交流を深めている。   |  |  |

| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |     |  |  |  |
|-----------------------|-----|--|--|--|
| 15                    |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ・普段の表情と比較して異変があったら声掛けて傾聴する。<br>・アセスメントの段階で本人が困っていること、不安なこと、要望を聞き取り、信頼関係の構築出来るよう努めている。<br>・本人様の訴えに傾聴し安心して頂けるように努めている。<br>・面談など行い情報収集し、会話を深めるようにしている。                                |  |
| 16                    |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ・入居契約の段階で家族様が困っていること、不安なこと、要望を確認し家族との信頼関係の構築するよう努めている。<br>・ご家族様の要望を具申に受け入れ不安を取り除くよう努める。<br>・初期だけでなく、訪問時毎回話を聞き職員で共有している。<br>・面談の段階で聞くように努めている。                                      |  |
| 17                    |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | ・サービス導入時点で必要とする支援を本人、家族様に確認し出来る事を行っている。<br>・見極める事がなかなか出来ない。  |  |
| 18                    |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | ・入居者様本人が出来ること、出来ないことを見極め、出来ることを積極的に行ってもらうようにしている。<br>・本人様の出来ることを一緒に行っていただくことで支え合う存在に感じていただく。<br>・世間話をし、何を求めているのか話したり、職員の話を聞いてもらったりと信頼を築いている。<br>・掃除など利用者様と一緒に行うことで信頼関係を築けるようにしている。 |  |
| 19                    |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | ・家族様と情報共有をしっかりと行い、本人様を支える存在と認識して頂いている。<br>・面談時に本人様の様子を伝え安心していただいている。<br>・ご家族様に協力を依頼したり、お互いが支え合えるようにしている。   |  |
| 20                    | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ・本人様が安心できるように座る場所や環境を整えている。<br>・入居者様がご友人とカラオケに行きたいと申し出がありご家族様への許可をとり御本人様に楽しんでいただけた。<br>・ご友人などの面会がある際はリラックスした空間で行えるようにしている。   |  |
| 21                    |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | ・仲の良い入居者様同士で話が出来よう配慮し席を考えている。<br>・会話が弾むように間に入りトラブルが起きないように間に入っている。<br>・職員が間に入り会話をしたり、ユニットを移動し入居者様同士の交流をしている。<br>・リビングにて会話が弾むよう明るい雰囲気を作るように心懸けている。                                  |  |

|                                   |      |  |   |  |  |
|-----------------------------------|------|--|---|--|--|
| 22                                |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                     | ・なかなか契約終了したあとの支援は出来ていない。  |  |  |
| <b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |  |  |
| 23                                | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ・本人様にとってな何がいいのかを常に考えながら暮らし方の希望、意向の把握に努めている。<br>・一人ひとりの気持ちを大事にしている。<br>・会話から意向をくみとれるよう努めている。   |  |  |
| 24                                |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ・職員間の中で情報共有されている。<br>・情報提供書などを確認して把握に努めている。   |  |  |
| 25                                |      | ○暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | ・身体が疲れているときは早めの入眠を促すなどしている。<br>・一人ひとりの1日の過ごし方、心身状態有するかの把握を職員全員で行うように努めている。<br>・カルテ等を確認し現状把握に努めている。  |  |  |
| 26                                | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ・現状に合った介護計画を作成するように各ユニット会議、サービス担当者会議を開催している。<br>・適切なケアが行えるように話し合いを行い最適なケアに努めている。<br>・フロア会議にて一人ひとりのケアに対し相談し、対応することも出来ている。                              |  |  |
| 27                                |      | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                    | ・些細な出来事やちょっとした状態変化も逐一介護記録に投入し職員間で情報共有し介護計画の見直しに活かしている。<br>・カナミックに入力することで情報共有が出来ている。<br>・1ケア1記録としてさいな変化を記録し共有出来ている。<br>・細かなことでも記録し、小さな変化を見逃さないようにしている。 |  |  |
| 28                                |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | ・LINE WORKSで情報共有を行い柔軟な支援を行っている。<br>・なるべく柔軟に支援したいがあまり出来ていないと思う。  |  |  |

|    |      |  |   |  |  |
|----|------|--|---|--|--|
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している   | ・町内会の廃品回収に参加している。   |  |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                     | ・訪問診療以外で専門医の受診が必要な場合は、家族様に依頼し適切な医療を受けられるようにしえんする。<br>・希望を大切に行っている。<br>・出来ている。<br>・訪問診療、歯科と連携を取りながら支援している。   |  |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br><br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                         | ・施設内に看護師は居ないが系列施設に看護師になにかあった際には連絡し、確認を取っている。月二回の訪問診療時には系列施設の看護師がきて様子確認を行っている。<br>・月2回の訪問診療でその方の情報を先生に伝える事ができる。<br>・常に情報共有を行い、適切な受診を看護を受けられるようにしている。<br>・共有のアプリを使い常に報告することが出来ている。<br>・常に連携出来るように体制をつくり医療面での不安を少なくしている。 |  |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるよう、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。     | ・入居者様が入院した際は、入院先の相談員、退院コーディネーター等とこまめに情報交換を行っている。<br>・病院との関係を作ることは自分自身出来ていない。  |  |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br><br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ・重度化した場合や終末期については基本的に系列施設に移動入居をすすめている。(看護師が常駐して居ないため)<br>・早い段階で訪問診療や家族様に受診していただき適切な支援が行えるように取り組んでいる。<br>・何か異変があればすぐにご家族様への報告を行っている。   |  |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br><br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | ・日中は職員が数名いるので急変対応に安心だが、夜間は職員1人なので不安。<br>・オンコールがいつでも出来るようにナースと連絡を取り合い適切に対応出来るように行っている。<br>・当日出勤/職員で行えるように出来ている。<br>・応急手当での訓練を行っている。  |  |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | ・避難確保計画を作成し、利用者、職員の動きを定めている。<br>・月に2回災害訓練を行っているがいつ何が起きるか分からないので職員一人のとき対応できるか不安もある。<br>・消防署の協力を得て訓練を行っている。<br>・訓練している。<br>・定期的に訓練を行っている。   |  |  |

| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |   |  |
|---------------------------|------|---|---|--|
| 36                        | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご自身で出来ることはやっていたき、一つひとつの動作に声掛けをしている。</li> <li>・一人ひとりを理解した上でその方にあった言葉かけを行う事ができる。</li> <li>・人格を尊重した声掛けを行っている。プライバシーの確保に努めている。</li> <li>・出来ている</li> <li>・丁寧な声掛けを意識している。</li> </ul>  |  |
| 37                        |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望を訴えられた時に受け入れ満足して頂けるように努めている。</li> <li>・出来ている</li> <li>・「どっちがいいですか？」等の選択肢を伝え、自己決定出来るような声掛けをしている。</li> </ul>  |  |
| 38                        |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりのやりたいことを大切にしながら自分のペースで過ごしていただくよう配慮している。</li> <li>・気分の乗らないときは無理せず、時間をあけたり別の日に行うようにしている。</li> <li>・レクの種類など、その人らしさを大切にしている。</li> <li>・なるべく希望に沿いたいが出来ていない事が多い。</li> </ul>  |  |
| 39                        |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴後に着る服でご自分で服を選べる方には一緒に職員と居室に行き選び、また無理な方にはどれか似合うか選んでいる。</li> <li>・身だしなみがだれてきたときは声掛けて整えていただいたり、お手伝いして整えている。</li> <li>・鏡をみてもらったり、メイクへの声かけしたり、産毛を剃ったり身だしなみを整えていただけるよう声掛けし、その人らしい身だしなみが継続出来るように支援している。</li> <li>・入浴の際一緒に服を選んだり、髪切り等を行い身だしなみを整えている。</li> </ul> |  |
| 40                        | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の準備は職員が行うが、血拭きやテーブル拭きは入居者様にやってもらっている。</li> <li>・美味しく食べれるように食事前は口腔体操を行い、食べたあとの食器拭きをみんなでふいていただいている。</li> <li>・食事の用意や片付けを一緒に行ったり、レクで季節の食べ物の話をしたりと食事を楽しむ事が出来るように支援しています。</li> <li>・皿の拭き上げなど一緒に行えるように声掛けしている。</li> </ul>                                     |  |
| 41                        |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一日を通して食べる量、栄養バランス水分量を確保している。また状態に応じてきざんだりして提供している。</li> <li>・硬いものが食べれない方には細かく刻み食べやすくしている。</li> <li>・常に記録に残し、栄養摂取、水分確保行っている。</li> <li>・水分量が少ない方にはスポーツドリンクの提供するなどその方に合ったように提供している。</li> </ul>   |  |
| 42                        |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問歯科を連携し、歯ブラシだけではなく歯間ブラシ等、本人様の状態に応じた口腔ケアを行っている。</li> <li>・毎食後口腔ケアの声掛けをして行っているが拒否の強い方には何度も声掛けをして無理なら未実施にしている。</li> <li>・毎食後口腔ケアを行っている。必要に応じて訪問歯科を行っている。</li> <li>・毎食後の口腔ケアの声かけケアが必要な方はフォローしている。</li> <li>・支援が必要な方には介助者が口腔ケアを行っている。</li> </ul>              |  |

|    |      |   |  |  |  |
|----|------|---|--|--|--|
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの排泄のパターン、出来ることを把握しなるべくトイレで排泄出来るように支援している。</li> <li>ご自分でトイレに行ける方にはトイレでもらい、また介助でトイレに行ける方には職員が付き添い行っている。</li> <li>本人様にあった排泄方法を支援している。</li> <li>定時でトイレ誘導を行い、リハビリ等への失禁をなるべく減らし、トイレ内での排泄を行えるようにしている。</li> </ul>  |  |  |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br><br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた対応に取り組んでいる  | <ul style="list-style-type: none"> <li>便秘の入居者様には腹部マッサージを行うようにしている。</li> <li>薬でなく、マッサージや運動で排便を促すよう支援している。水分をたくさん取ることで出やすくしている。</li> <li>排泄の状況や日数を把握しその時の状態により対応している。</li> <li>2名ほど便秘の方がいらっしゃるのその方にあわせての薬が出ています。</li> <li>水分の促しを行っている。場合によっては下剤も看護師の指示の元使用している。</li> </ul>   |  |  |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>極端に早い時間、遅い時間を避けなるべく職員の都合にならないように配慮している。</li> <li>週2回入浴を行っているが拒否の強い入居者様には何度も声掛けをして無理なら次の日に声掛けをしている。</li> <li>声掛けに気づけば本人様が良いタイミングで入っていただいている。</li> <li>お湯加減を確認したり、気持ちいいですか？と声掛けしながらその人の好きな入浴方法をきく。会話を楽しんだり、ゆっくり入ってもらったりとその人にあったように工夫している。</li> <li>曜日、時間帯は決めているため出来ていないのが現状。</li> </ul> |  |  |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日中の状態によっては休息を促したり、早めの就寝を声掛けしたりし気持ちよく寝れるように支援している。</li> <li>夜間眠たそうになっている入居者様がいたときは、声掛けをし部屋でゆっくり休んでもらっている。</li> <li>安心していただけるように環境や声掛けに配慮して休んでいただいている。</li> <li>日中眠たい方はソファに誘導したり、安心して休めるように誘導している。</li> <li>なるべく昼間に声掛けや運動を行い、昼夜逆転しないようにしている。</li> </ul>                                 |  |  |
| 47 |      | ○服薬支援<br><br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問診療で処方された薬を服用してもらっているが、用法、用量について詳しく理解出来ない。</li> <li>本人様にあった服薬が出来るように週一回の訪問診療を行っている。</li> <li>理解している。訪問診療、フロア会議など、薬の効果についても話し合い、必要のない薬は中止(Dr指示のもと)となるときもある。</li> <li>分からない薬があれば都度調べるように努めている。</li> </ul>  |  |  |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>その月のレク係の職員がレクを決めて入居者様の方が楽しんでもらうにはどうしたらいいかを考えて行っている。</li> <li>手作業の好きな方には一緒に完成を楽しみに出来るような提案を行い、支援している。</li> <li>季節感のあるレクリエーションに取り組むなど、入居者様に変化を楽しんでいただいている。</li> <li>家事が得意な方には料理に参加してもらったりしている。</li> </ul>   |  |  |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br><br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | <ul style="list-style-type: none"> <li>なるべく外の空気を吸ってもらいたいので、職員が手の空いてるときには中庭に出てもらったり、家族様と外出される方もいる。</li> <li>家族様の協力のもと外出していただいている。</li> <li>散歩をしたり、花をみたりと外に出ている。家族様誘ってのレクリエーションなど協力し外出出来ている。</li> <li>定期的には行えていないがレクにて、外出レクを企画したりしている。</li> </ul>  |  |  |

|         |   |  |  |  |
|---------|---|--|--|--|
| 50      | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を持つことの大切さは理解しているが、小銭を持たないと落ち着かない方を除いては現金を所持していない。</li> <li>・お金はなくなったら大変なのでお家族様に持つようにしている。</li> <li>・管理が難しいかたはご家族様に渡しているが、許可を得て少額であれば所持しているかともみえる。</li> </ul>                               |  |  |
| 51      | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人様の希望で電話をかけられている。</li> <li>・手紙が届いた時にお返事書きでしょうか？と声掛けしているが、いいと言われてしまった事があります。</li> <li>・レクの際メッセージカードや手紙をご家族様に渡したり出来ている。</li> </ul>  |  |  |
| 52 (19) | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・就寝の際は寝やすさ状態把握出来るよう常夜灯にしている。</li> <li>・食堂を中心に季節感を感じる事が出来るように掲示物をつくり居心地よく過ごせるよう工夫している。</li> <li>・共用空間をいつも清潔に保ち、快適に過ごせるように環境を整えている。</li> <li>・常に掃除を行い、清潔を保つようにしている。季節にあった壁面制作を行っている。</li> </ul> |  |  |
| 53      | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室とリビングを自由に行き来でき本人様のペースで過ごしていただいている。</li> <li>・リビングの席替えをしたり一人ひとりが穏やかに過ごせるように配慮している。1人部屋のため1人になりたいときは1人にもなれます。</li> <li>・ソファを置きリビングでゆったりくつろぐスペースを確保している。</li> </ul>                           |  |  |
| 54 (20) | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時に家族様に家具等を用意してもらい、レイアウトも行き、居心地良く過ごせるように配慮している。</li> <li>・季節に合った衣類、布団を入れ替えて清潔に保てるように環境を整えている。</li> <li>・御本人の馴染みのある物を置いたり工夫しています。</li> <li>・使い慣れた家具を配置したり、居室の清掃をこまめに行なっている。</li> </ul>       |  |  |
| 55      | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家具は馴染みのものをしようしていただき安全のため耐震対策を行っている。</li> <li>・掃除や皿の拭き上げ等を行ってもらい自立した生活を送れるようにしている。</li> </ul>   |  |  |